



発木建第 18 号  
平成 19年 5月 11日

国土交通省道路局長 殿

木城町長 田口 晃



中期的な計画の作成にあたっての意見書の提出について

道路事業促進につきましては、日頃より特段のご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

標記の件につきましては、別紙のとおり意見書の提出をいたしますので宜しく申し上げます。

## 中期計画作成にあたっての意見書

- 重点化を進める上で特に優先度の高い政策  
高速道路（東九州自動車道）のネットワークが最優先の政策と考える。  
現在は、宮崎～大分間が開通していないので交通量も少なく経済効果がほとんど出ていない。産業の振興、観光面からも早期完成を望んでいる。
  
- 高率化を徹底的に進める上で重視すべきこと  
道路整備に当たっては地域性、人口、交通量など十分調査把握して全国一律の規格にはめ込まずに、地域の実情に応じた道路計画を認めてもらいたい。  
例えば、歩道の不必要な路線は省き、両側ではなく片側のみの歩道を認めるなど効率性を重視してほしい。
  
- その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見  
特にありません